



仁淀病院からのお知らせ



新病院・外来について

仁淀病院 放射線科

放射線科では、医師の指示で放射線技師がエックス線を使用した検査を行っております。病気の方や健診の方を対象とし、得られた画像が診断に役立てられています。現在、放射線科では、診療放射線技師2名で日常業務を行っており、装置は一般撮影装置、FCR装置、乳房撮影装置、X線TV撮影装置、CT撮影装置、病室で撮影するポータブル撮影装置、手術室で撮影する外科用X線TVシステムが稼働しています。

今回、病院が新しくなり装置もX線TV撮影装置、CT撮影装置、外科用X線TVシステムを最新の装置に更新しましたのでご紹介します。

X線TV撮影装置

今回、更新したX線TV撮影装置は最新鋭のFPD（フラットパネル方式）で高知県内では3番目の導入施設になります。FPD方式の一番の特徴は検出器が平面であることです。従来のI.I方式は球面視野で画像を作るために画像に収差が生じ、画像が歪みますが、FPD方式は平面（17インチ×17インチの正方形）のため画像に歪みがありません。また、コントラストも均一です。

このFPD方式には、直接変換方式と間接変換方式があり、当院が導入したのは、直接変換X線FPD（平面検出器）搭載の装置です。消化管造影検査、血管造影検査、内視鏡を使った造影検査、整形外科検査の脊椎腔造影、椎間板造影、トモシンセンスなどいろいろな検査ができます。また、画像をデジタル化して院内ネットワークにつなげられるために、今後進められるモニター診断などに対応可能です。

CT装置

CT装置は、X線を使って身体の輪切りの画像を撮る装置です。X線とコンピュータを使うことで、身体の断面の画像を映し出すことができます。従来のCTは、体の周りを回転し撮影する検出器が1列でした。

最近では、4列、8列、16列、32列、64列、160列、256列、320列と検出器が多列化し撮影時間が高速化してきています。検出器の列数は、体の周りを一回転で撮影できる範囲と大きく関係しています。

また、列数が多いと同じ範囲をより細かく、より短時間で撮影することができます。

当院に導入されたCT装置は64列の検出器を持つCT装置です。検出器が1回転する時間は、最短0.35秒と高速で検査時間が短くなります。検査時間が短くなることで、検査の待ち時間も少なくなります。また、わずか1回転で128スライス（断面）のデータを取得することができます。より高画質の画像が作れます。従来のCT装置では難しかった冠動脈の検査などができハイレベルな検査に対応できます。データ処理により、立体的な3次元画像を作成することもできます。詳しい検査の内容については、担当医にお気軽にお尋ねください。

